



総合病院

しゃ かい い りょうほう じん どう じん かい みみ はら そう ごう びょう いん
社会医療法人 同仁会 耳原総合病院

所在地／さかいしきがいきくわちやう堺市堺区協和町4-465
TEL.072-241-0501 <https://www.mimihara.or.jp/sogo>
創立／1950年（耳原実費診療所） 病院開設／1953年（昭和28年）
職員数／約1,000名（2026年5月）



もっと、くわしく
見てみよう！

職場見学可能です

出張授業可能です

職場体験可能です

? 耳原総合病院には どんな役割があるの？



**救急医療を支え、地域の病院と協力しながら、
地域のみなさんの命と健康を守っています。**

『断らない救急』をモットーに救急隊と協力し、地域の救急医療を支えています。地域の病院やクリニックと連携し、検査や手術、入院患者を受け入れています。さらに『いのちの平等』を大切に、お金の有る無しにかかわらず必要な人に医療を届ける『無料低額診療事業』に取り組んでいます。



どんな病院なの？



**地域のみなさんの健康を守るために
生まれた病院です。**

みみはら
耳原実費診療所

戦後、お金がなく医療にかかれない人がたくさんいました。地域住民は自分たちの健康は自分たちで守りたいという思いで、1口100円の資金を集めました。その思いに医師や看護師などの医療従事者も協力して、自分たちがかかるための診療所『耳原実費診療所』を立ち上げました。地域住民と医療従事者が力を合わせてつくった診療所が今の耳原病院のスタートです。



ここがスゴイ！ 病院にいる救急隊

救急隊は消防署から出動しますが、耳原総合病院では救急隊がいつも病院の中に待機しています。普段から医師や看護師と一緒に働いているので、お互いのチームワークは抜群。出動していないときは、病院の中で最新の医療を学び、救急の腕を磨いています。

受け入れ



救急車で運ばれてきた患者さんを受け入れます。

初期治療



急性症状に対する処置や治療を行います。

状態を確認



患者さんの状態を見極めて優先度を決めて治療を行います。

治療



迅速に診察し、適切な治療を行います。

患者さん・ご家族のケア



治療内容を、患者さんやそのご家族に分かりやすく説明します。

救急隊から引き継ぎ



適切な処置ができたかを振り返り、次の治療へつなげます。



医師の診療・治療を支える役割って知っている？



**医師をはじめ さまざまな職種が
医療を提供しています。**

私たちの病院は、診療部・看護部・技術部・事務部など、それぞれの専門職が連携して、チームとして活動しています。それぞれの専門的な視点と知識を持ち寄ることで、患者さん一人ひとりに合った医療を提供することができます。

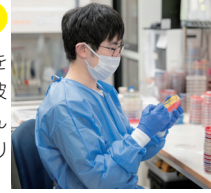
臨床工学科

病院内のすべての医療機器の操作と患者さんの治療をサポートします。医療と工学の知識が必要なオールラウンダーです。



臨床検査科

血液を調べる検体検査をはじめ、心電図や超音波検査、細菌や遺伝子、がん細胞を調べる役割もあります。



医療福祉相談室

通院や入院した時に、お金や仕事などのさまざまな問題に対して、その人の望む幸せ・暮らしに近づけるように専門知識を生かして支援します。



リハビリテーション科

治療の痛みが落ち着いてきたら、リハビリテーションを通して筋肉の柔軟性の改善、筋力強化、正しい姿勢・動作などを導きます。



薬剤科

医師の書いた『処方せん』という指示に従い薬や注射の準備をします。アレルギーや薬の飲み合わせなども確認します。



栄養管理課

食事も治療の一環です。入院患者さんの状態に合わせた食事を設定し、栄養管理を行います。



病を治すだけでなく患者さんに「ホッ」としていただく場を提供しています。

病院内に『希望のともしび』をテーマにしたホスピタルアートを展開しています。この取り組みは「病気を治すだけでなく、患者さんの心にも希望を届けたい」という看護師の提案から始まりました。検査室や待合室には、少しでも安心して過ごせるよう、堺市にちなんだ絵や花のイラストを飾っています。また、エントランスには誰でも自由に弾けるピアノを置くなど、音楽も取り入れています。病院を訪れる人や地域のみなさんが笑顔になれる場所づくりを続けています。



社会貢献活動にも取り組んでいます！

健康講座 | 病気の予防や食事・運動に関する教室を地域住民向けに開いています。職場体験 | 学生を対象にした看護師などの医療職の体験イベントを行っています。



働く人の声を聞いてみよう！

Q&A

Q. やりがいは何ですか？

「先生のおかげです」と患者さんやご家族から感謝された時です。救急で入院された方が元気に回復して退院される姿を見ると、医師になって本当によかったと実感します。

Q. これからの
目標は何ですか？

感謝の気持ちを忘れず努力を続け、地域から求められ信頼される医師になることです。



臨床研修センター
初期研修医
しまだ か な こ
島田 佳奈子 さん

Q. やりがいは何ですか？

医師が気づかない異変を画像で補助し、迅速な治療につなげて病気の悪化を防げた瞬間です。「おかげで助かった」とチームから喜ばれた時にとても大きなやりがいを感じます。

Q. 大切にしている
ことは何ですか？

痛みがある患者さんに寄り添い、自身の撮影技術で痛みなどの身体の負担を最小限に抑えて撮影することです。



放射線科
診療放射線技師
たちばな じゅん や
立花 淳也 さん

Q. やりがいは何ですか？

手術の不安や痛みを抱えていた患者さんが、回復して笑顔で「ありがとう」と退院された時です。退院まで寄り添い、心身の支えになったことにとても深いやりがいを感じます。

Q. 大切にしている
ことは何ですか？

患者さんを自分の家族と思って接し、痛みや恥ずかしさに配慮する思いやりを大切にすることです。



外科病棟
看護師
かめ ま れん
亀間 蓮 さん